

香川高等専門学校		開講年度	平成31年度(2019年度)	授業科目	校外実習
科目基礎情報					
科目番号	3049	科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子システム工学科(2018年度以前入学者)	対象学年	5		
開設期	集中	週時間数			
教科書/教材	特になし				
担当教員	矢木 正和				
到達目標					
校外での就業体験を通して、授業で修得した知識および技術を認識すると共に、視野を広げ、今後必要な知識や技術を把握することを目標とする。また、社会の一員としてのマナーや責任感、技術者としての倫理観、就労における厳しさを体験することにより、社会人としての自覚や職業観を養うことを目標とする。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	情報機器を用いて情報収集ができる、明確な志望理由書を作成できる。	情報機器を用いて情報収集ができる、志望理由書を作成できる。	情報機器を用いて情報収集ができる、志望理由書を作成できない。		
評価項目2	校外実習の目的を十分に理解している。	校外実習の目的を理解している。	校外実習の目的を理解していない。		
評価項目3	情報機器を活用して報告書を作成し、わかりやすく口頭発表できる。	情報機器を活用して報告書を作成し、口頭発表できる。	情報機器を活用して報告書を作成し、口頭発表できない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	校外での就業体験を通して、授業で修得した知識および技術を認識すると共に、視野を広げ、今後必要な知識や技術を把握することを目標とする。また、社会の一員としてのマナーや責任感、技術者としての倫理観、就労における厳しさを体験することにより、社会人としての自覚や職業観を養うことを目標とする。				
授業の進め方・方法	実習を希望する会社に関して事前にその情報収集を行い、志望する理由を明らかにする。ガイダンスを通して、実習に向けての心構えや礼儀等を理解し、必要書類を作成する。実際に、校外の工場、事務所、研究所、大学の研究室等で実習を行い、実習終了後に報告書の提出および実習報告会で実習内容の発表を行う。				
注意点	遅刻・欠席等で実習先に迷惑をかけない。挨拶等の社会ルールを守る。実習先の担当者の指示に従い、事故に注意し、本校学生として常識のある行動をする。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	実習前に希望する会社に関する情報を収集し、志望理由書を提出する。		
		2週	実習に向けての心構え、報告書の書き方などの事前のガイダンスを受ける。必要書類を作成する。		
		3週	夏季休業中の時期において、各学生が校外で30時間以上の校外実習を行う。実習内容は、生産現場および事務所での業務、研究室での業務などであり、それを体験する。(30以上)		
		4週	校外実習終了後、報告書を提出する。		
		5週	校外実習報告会で実習内容を発表する。		
		6週			
		7週			
		8週			
後期	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
後期	3rdQ	1週			
		2週			
		3週			
		4週			
		5週			
		6週			
		7週			
		8週			
後期	4thQ	9週			
		10週			

	11週						
	12週						
	13週						
	14週						
	15週						
	16週						

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	報告書	発表					合計
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100
基礎的能力	50	50	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0